



4つのステートメント(案)

歴史を前にすすめる一助に

人権を守る立場で市民・国民が声を上げ続け

人が人として尊重される社会をすすめる上で、人権を守り合う事は前提となります。ところが、貧富の差により生まれた支配層は、民族、人種、性差、身分など、様々な差別を生み出し、その差別を利用して市民・国民を統治しようと歴史を重ねてきました。その事は同時に、人権を守る立場で多くの市民・国民が声を上げ続け、社会に変革を起こしてきた歴史でもありました。今では当たり前になっている普通選挙権。これですら、先人の長いたたかいと取り組みの成果です。

無数の「#MeToo」的な動きの積み重ねで

SNSで広がった#MeTooムーブメントは、まだ記憶に新しいところです。セクシャルハラスメントや性的被害に泣き入りせず、声を上げようと全世界

4つのステートメント(案)

- * 平和、地球環境、人権を守る運動を現場・地域から広めよう
- * 互いを尊重しあい、ハラスメントが発生しない職場づくりをめざそう
- * (仮称)性の多様性を認め合える組織を推進しよう
- * 同仁会はジェンダー平等の社会を推進しよう

に向けて呼びかけ、いわゆる「男性上位社会」で顕在化されなかった事象の多くが、社会の目にさらされる事となりました。過去の被害は取り戻せませんが、「今後の被害を減らしたい」と多くの有名人が参加したのが特徴でした。人間社会は、無数の「#MeToo」的な動きの積み重ねによって、少しずつ人権が尊重される社会へと歩んでこれたのではないのでしょうか。

権力を持つものの権限を 条文で規制する日本国憲法

日本国憲法第12条は、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によ

つて、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであって、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ」と定めています。これは、第2次世界大戦時、国民の命を優先せず、侵略戦争へと駆り立てた日本政府の有り様を教訓としたものです。日本国憲法は、権力を持つものの権限を条文で規制し、国民一人ひとりに「憲法が国民に保障する自由と権利は、国民自身の力で守れ」と呼びかけています。



「人権感覚」と「組織のあり方」が試される課題

同仁会は、差別と貧困の中、地域のみなさんが主役となって生まれた組織です。無差別・平等を掲げ、差額ベッド料をいれず、無料低額診療を広げ、新型コロナ危機にも向き合っており、奮闘を続けてきました。しかし、その誇りある歴史と奮闘は、同仁会が常に人権を守る立場の組織である保障とはなりません。

今回提案した同仁会の4つのステートメント(案)は、人権を守る課題であるとともに、私たち同仁会という組織や構成する一人ひとりの「人権感覚」と「組織のあり方」が試される課題として位置づけています。4つのステートメント(案)が、同仁会の内外で変化を生み、歴史を前にすすめる一助になる事を願っています。

次回からは、ステートメント(案)の内容を解説予定です。多くの方からの声をお待ちします。
(社会医療法人同仁会 専務 穴井勉)

※ステートメントは英語のstatementに由来し、団体などが方針をまとめ、公式に宣言として発表したものをいいます。

— これからやってみたい仕事は？
健康相談などで、ざくばらんしているようなお話を聞かせていただけるといいなと思います。

— どんな仕事をしていますか？
職員相談室で、職員のみなさんの健康サポートをしています。でも実際は、まだまだ仕事を学ぶのに精いっぱい日々です。仕事を覚えつつ、職員のみなさんと顔が見える関係を築いて、健康づくりのお手伝いができるようになりたいと思っています。

— あなたの大切なこと、ものは？
子どもが2人いて、家庭を大切にしています。それぞれの家庭やその人らしい暮らし方も、同じように大切だと思っています。

— ストレス発散方法はありますか？
コロナ禍で、ペランダガーデニングをはじめました。花に水をあげたり、眺めたりするのが今の息抜きです。
上手ではないですが、ピアノを弾くのもストレス発散です。

— 友の会や患者・利用者さんへ伝えたい思いなどをどうぞ。
保健師といえば、保健センターなどで、地域のみなさんの健康づくりのお手伝いをしていく保健師を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。直接皆さんとお話する機会が少ないかもしれませんが、地域の保健師と同じように、見かけたらぜひ、お声かけただけると嬉しいですね。

— みみはらを就職先に選んだ理由は？
以前から「みみはら」は、人や地域に優しいイメージがありました。そのため、自分自身も耳原総合病院で出産し、子どもたちの病気で何度もお世話になっています。機会があれば、「私も一緒に働いてみたい」と思っていました。「人のためにがんばっている方々の力になれたらいいな」という思いもありました。

— また、みなさんの心に留まるような健康情報などもお届けできればと思っています。



シリーズ
みみはらの人 ①6



松浦 真紀さん
同仁会本部人事部

広島県福山市出身。同仁会職員の健康を守る仕事をしています。好きな言葉は、「強く、優しく」です。

人のために
がんばっている
方々の力に